

# うまい米づくり情報 第2号

令和8年4月8日  
砺波農林振興センター  
なんと農業協同組合

## 1 播種

- ・浸種を籾殻がアメ色になるまで十分に行ってから、催芽・播種を行う。
- ・厚播きやムラ播きにならないよう注意する。

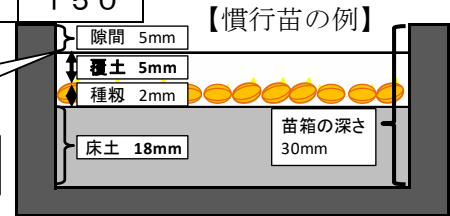
表1 播種量の目安

品 種	(g/箱)	
	乾 粳	催芽粳
酒米：五百万石・雄山錦・山田錦	140	175
うるち・もち米：コシヒカリ・てんこもり・新大正糯	120	150

試し播きにより  
播種量を必ず確認する

- ・育苗箱への床土や覆土の充填は、右図を目安とする。

かん水時の水を溜めるため、苗箱上部との隙間(5mm)を確保しましょう。



## 2 ハウス搬出後の管理 ～ハウス内の高温は、病気の発生と軟弱徒長の原因～

### (1) 搬出

- ・搬出後は覆土を落ち着かせる程度にかん水し、葉焼けを防ぐ。ただし、低温日の場合にはかん水を控える。
- ・搬出直後でも、ハウス内の気温が25℃を超える場合は、風下側を開けて換気する。

### (2) 緑化(搬出後2～3日程) ～適切な温度管理、過湿に注意～

- ・寒冷紗の被覆は2～3日程度とする。
- ・第2葉の葉先が寒冷紗の上に出てきたら、遅れずに寒冷紗をはずす

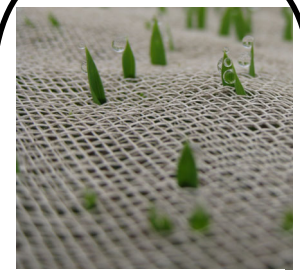
特に、特別栽培米コシヒカリは徒長しやすいため、早めにはずす

### (3) 硬化 ～高温、かん水過多に注意し、早めに換気を！～

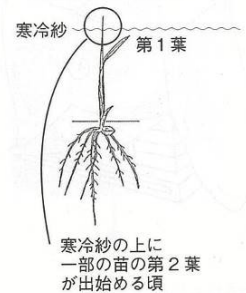
- ・かん水は、1日1回早朝に行い、フェーン現象等で乾きが激しい場合は、適宜かん水する。
- ・田植えの1週間前からは昼夜ともに換気し、外気に慣らす。

表2 ハウス管理の目安

		緑化期	硬化期
育苗日数		2～3日	13～15日
温度管理	昼間	25℃以下	
	夜間	10℃以上	
水管理	かん水過多に注意 水不足による葉焼けに注意	原則、朝1回 土が乾いたら、適宜かん水	
換気	25℃を超えないように、換気	十分に換気	



被覆資材をとる目安



### (4) 病害対策 ～病害対策は迅速に！～

- ・薬剤は防除時期、希釈倍数、使用回数等を確認して適正に使用する。
- ・散布する場合は、床土を乾かし、かん水を兼ねて行う。

搬出後に低温(5℃前後)に遭った場合やムレ苗の常発地では予防的に散布する。

表3 搬出後の病害防除

病害	薬剤名	希釈倍数	散布量	使用時期等
ムレ苗・立枯病	タチガレーースM液剤	500倍	500ml/箱	播種時又は発芽後(1回)
白カビ・青カビ	ダコレート水和剤	500倍	500ml/箱	播種時から緑化期(播種14日後まで)(2回以内)

※特別栽培米は、上記の薬剤は使用しない。

※タフブロックを使用した場合は、ダコレート水和剤を使用しない。

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261)または  
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから  
会員登録はこちら

